

第 2 期岩手県ふるさと振興総合戦略（素案）に係る意見聴取の実施結果

1 実施期間

令和元年11月19日（火）～12月18日（水）

2 実施状況

区 分	参加（提出）数	意見数	備 考
県民・団体・市町村からの御意見	30人・団体	53件	
地域説明会	183人	44件	11/19(火)、22(金)、25(月)に県内4箇所で開催 ※ 上記のほか、1/13に休日の地域説明会を追加開催
審議会・委員会、出前説明会等	—	39件	期間内に開催した各部局所管の審議会・委員会、出前説明会で説明
計	213人・団体	136件	

3 御意見の項目別反映状況

(単位：件)

項目	反映区分※	A	B	C	D	E	F	計
		全部反映	一部反映	趣旨同一	戦略推進の参考	対応困難	その他	
I はじめに							1	1
II これまでの取組の成果と課題		1			1		6	8
III ふるさと振興の4本の柱と基本目標（施策推進目標）			1	4	3		6	14
IV ふるさと振興を進める上で重視する視点							3	3
V 4本の柱に基づく戦略の展開		8	2	37	24		11	82
VI ふるさと振興を進める分野横断の戦略の展開		2		5	4	1	2	14
VII 総合戦略の推進と市町村等との協働				2				2
【参考資料】SDGsと各戦略との関連について					1			1
その他				4	2		5	11
計		11	3	52	35	1	34	136

※ 各反映区分の内容

区 分	内 容
A（全部反映）	意見の内容の全部を反映し、総合戦略を修正したもの
B（一部反映）	意見の内容の一部を反映し、総合戦略を修正したもの
C（趣旨同一）	意見と総合戦略の趣旨が同一であると考えられるもの
D（戦略推進の参考）	第2期総合戦略の推進に当たって参考とするもの
E（対応困難）	A・B・Dの対応のいずれも困難であると考えられるもの
F（その他）	その他のもの（総合戦略に関する質問への回答等）

主な御意見（抜粋）

反映区分	主な御意見（抜粋）
A （全部反映）	<p><u>主な変更内容は、「資料4」のとおり。</u></p>
B （一部反映）	
C （趣旨同一）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 移住・定住、企業と地域をつなげる取組など、県と市町村で連携した方がいいと思う。 ○ 木材のCLTを公共施設に積極的に活用すべき。 ○ 首都圏に出ていった若者に地元就職してもらうため、岩手の魅力を訴える情報発信が必要ではないか。 ○ 退職後の高齢者が、いきいきと働き、暮らせるような施策を盛り込むことも必要ではないか。人生100年計画が実現できるようにしてほしい。 ○ 地域で子育てを支える仕組みづくりを進めてほしい。 ○ 人口減少対策を進めるに当たっては、県と市町村が連携して対応してほしい。
D （戦略推進の参考）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鳥獣害対策で鹿が年間5千頭捕れる。ジビエとして有効に使えないか。加工施設など整備して有効活用できないか。 ○ 物質的以外の部分の豊かさを押し出しているのであれば、単に人口を増やすということではなく、若者に結婚、出産、子育ての喜びを感じられるような施策を進めてほしい。 ○ 地方創生推進交付金によるUIJターンのほかに、岩手県独自に別の地方からの移住を呼び込む施策を行った方がいい。 ○ 福祉分野も人手不足で悩んでいる。若手の福祉人材を確保していくため、若い職員にSNSを活用して広報してもらっている。柔軟な考えで進めていただきたい。
E （対応困難）	<ul style="list-style-type: none"> ○ ILCについては、文科省の省益確保のための予算要望項目としての位置付けであり、戦略からILCに関するものを削除すべきである。
F （その他）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 次期総合戦略といわて県民計画（2019～2028）との関連はどのようになっているのか。 ○ 人口減少に伴う労働力不足が課題であり、特に、介護、建設分野が顕著であるが、外国人を労働力として受け入れるのか。